

工事店様用

自家消費向け

ZMPSC

ZMPJS

FZMPJS

エコめがね

自家消費モバイルパック

[太陽光発電 遠隔モニタリングサービス]

パワーコンディショナ-SV センサ間

通信ケーブル加工マニュアル

安川電機製 パワーコンディショナ用 Ver1.0

SV センサ設定ツール 設定内容

<PCS メーカー> 安川電機

<PCS 型式> Enewell-SOL P3A

対応型式：

CEPT-P3AA2025B

CEPT-P3AB2025B

CEPT-P3AT2025B

CEPT-P3AU2025B

注意事項

パワーコンディショナについての詳細な手順は、パワーコンディショナ付属のメーカー取扱説明書、施工・保守マニュアルに従ってください。なお、改訂などによりメーカー取扱説明書、施工・保守マニュアルの内容に変更が生じた場合など、本マニュアルの内容と異なる場合は、パワーコンディショナメーカー側の内容に従って施工してください。

通信ケーブルは、施工者様の責任において作成くださいますようお願いいたします。

誤った方法で施工した場合に、モバイルパック、パワーコンディショナ、その他周辺機器の故障などの異常が生じましても、当社はいっさいの責任を負いかねます。

1. 目的

エコめがね自家消費モバイルパック（以下 自家消費モバイルパック）をご利用いただくにあたって、「パワーコンディショナ - SV センサ間通信ケーブル」の作成・施工手順を記載しています。

2. システム構成

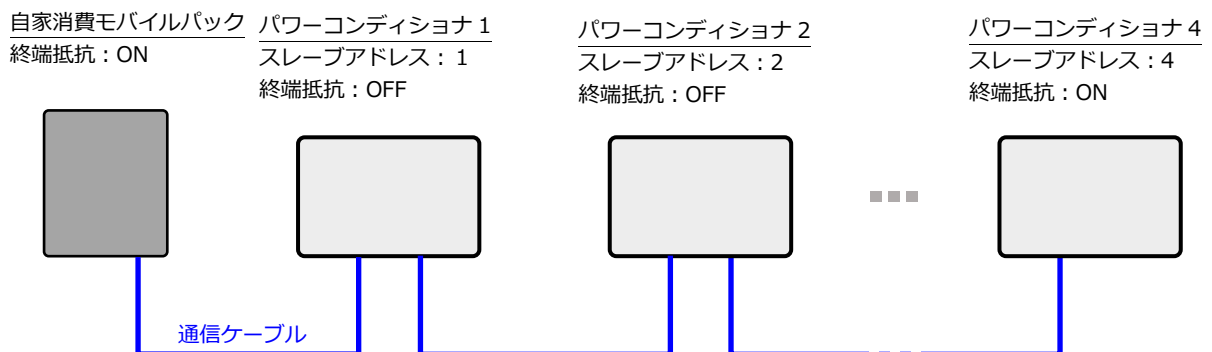
以下に、パワーコンディショナ 4 台接続のシステム構成例を記載します。

※型式によって接続可能台数が異なります。詳しくは当社 HP をご確認ください。

https://www.eco-megane.jp/mc_pcs/

※CEPT-P3AA2025B または CEPT-P3AB2025B と CEPT-P3AT2025B または CEPT-P3AU2025B は混在してご利用できません。

※CEPT-P3AT2025B または CEPT-P3AU2025B はオムロンソーシアルソリューションズ製「KP-PRRV-RPC」の接続が必要です。接続・設定方法については、パワーコンディショナの施工・保守マニュアルをご確認ください。



3. パワーコンディショナ - SV センサ間通信ケーブルの作成

3-1. 準備部材・工具

パワーコンディショナ - SV センサ間通信ケーブル作成に必要な部材・工具を以下に記載します。

●部材 (パワーコンディショナ - SV センサ間通信ケーブル 1 本あたり)

部材名	サイズ・規格	数量
丸型圧着端子 (絶縁スリーブ付)	穴径 M3 詳細はパワーコンディショナ付属のメーカー取扱説明書、施工・保守マニュアルを参照ください	3 個
シールド付きツイストペアケーブル	KPEV-S 1.25mm ² -1P または相当品	1 本
絶縁テープ	-	任意の長さ

<参考> パワーコンディショナ間 通信ケーブルの部材について

複数のパワーコンディショナ間を接続する通信ケーブルについて、必要な部材を以下に記載します。パワーコンディショナの施工・保守マニュアル等もご確認ください。

部材名	サイズ・規格	数量
シールド付きツイストペアケーブル	KPEV-S 1.25mm ² -1P または相当品	(PCS 台数-1)本
丸型圧着端子 (絶縁スリーブ付)	穴径 M3 詳細はパワーコンディショナ付属のメーカー取扱説明書、施工・保守マニュアルを参照ください	ケーブル 1 本あたり 6 個

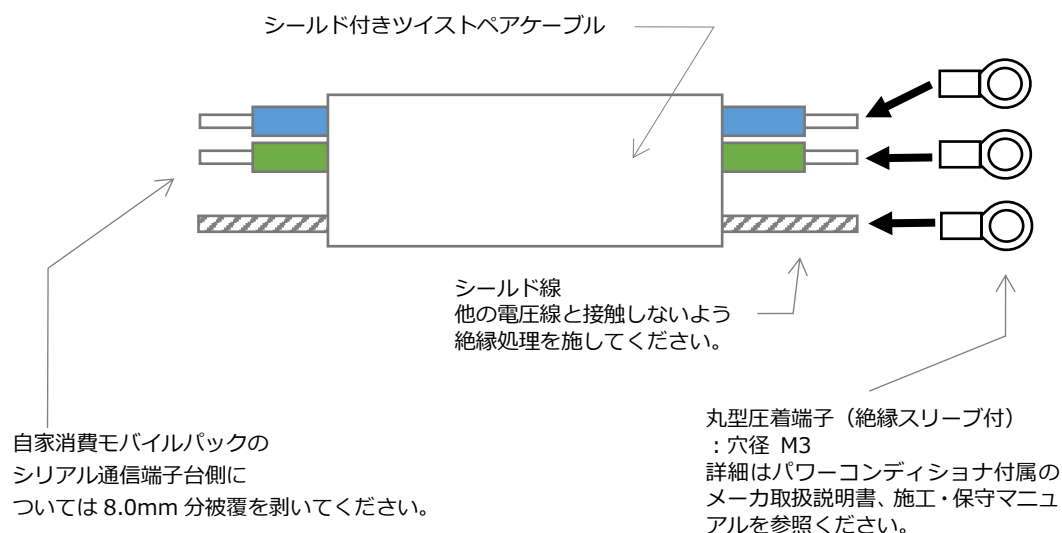
●工具

工具名	サイズ・規格	個数
ニッパー	-	1
プラスドライバー	-	1
トルクドライバー	-	1
精密ドライバー	マイナス、2.0mm	1
圧着工具	圧着端子サイズに適合するもの	1

3-2. パワーコンディショナ - SV センサ間通信ケーブルの加工

●ケーブル加工方法

パワーコンディショナ - SVセンサ間の距離に応じた長さのシールド付きツイストペアケーブルを用意し、両端の被覆を剥いてください。パワーコンディショナ側の信号線の端に、丸端子を圧着してください。自家消費モバイルパックのシリアル通信端子台側については8.0mm分被覆を剥いてください。また、シールド線の金属線部分や余った配線がある場合は、ほかの配線と接触しないよう絶縁テープ処理を施してください。



4. 通信ケーブルの取付け方法

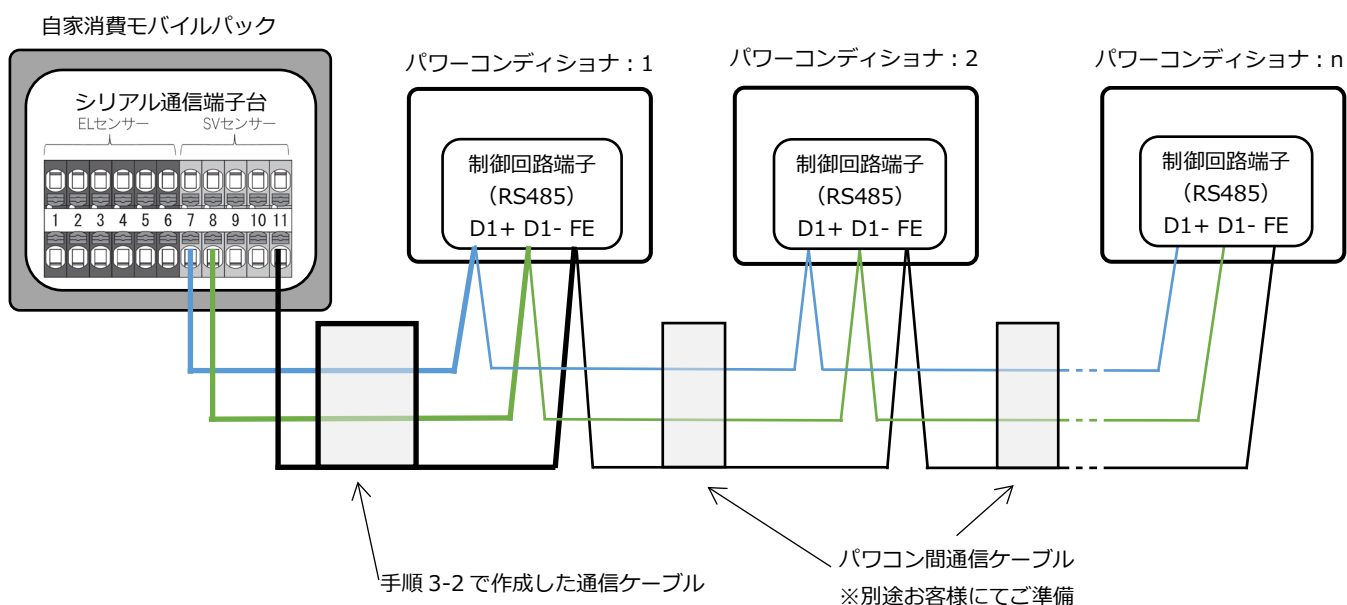
＜注意＞ 機器が運転停止している状態、すべての入力スイッチやブレーカが「OFF」になっている状態で作業を開始してください。

自家消費モバイルパックのシリアル通信端子台とパワーコンディショナの制御回路端子の間を、手順 3-2 で加工したケーブルで接続してください。

自家消費モバイルパックシリアル通信端子台の挿線口付近のツメ(橙色)を精密ドライバーで押しながら、挿線口に通信線を挿入してください。挿入後、精密ドライバーの押さえを開放しますと通信線が固定されます。通信線を軽く引いて、抜けが生じないか確認してください。

また、パワーコンディショナ間の通信ケーブルについては、別途パワーコンディショナの施工・保守マニュアル等をご確認の上、接続してください。

●ケーブル取付け全体図



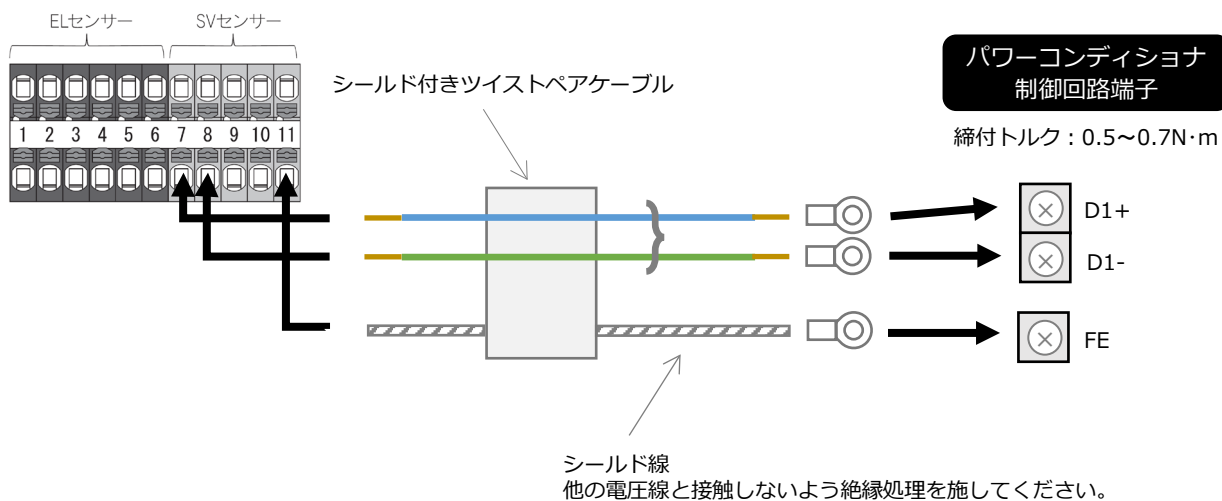
※通信ケーブルは電力線と離して敷設することをお勧めいたします。

※エコめがね側でシールド被覆をアースに接続されない場合、パワーコンディショナ側のシールド被覆を確実にアース端子に接続してください。

● パワーコンディショナ-SV センサ間通信ケーブル取付け部分図

自家消費モバイルパックシリアル通信端子台

挿線口付近のツメ(橙色)を精密ドライバーで押しながら、挿線口に通信線を挿入してください。



● 結線対応表

自家消費モバイルパック シリアル通信端子台		パワーコンディショナ 制御回路端子	
ピン番号	信号名	端子記号	信号名
7	TX+	D1+	RS485通信
8	TX-	D1-	RS485通信
11	SG	FE	シールド被覆線接続用

5. その他

5-1. 終端抵抗の設定

SVセンサの終端抵抗を設定してください。

＜注意＞ 出荷状態では、SVセンサの終端抵抗はON状態で設定されています。

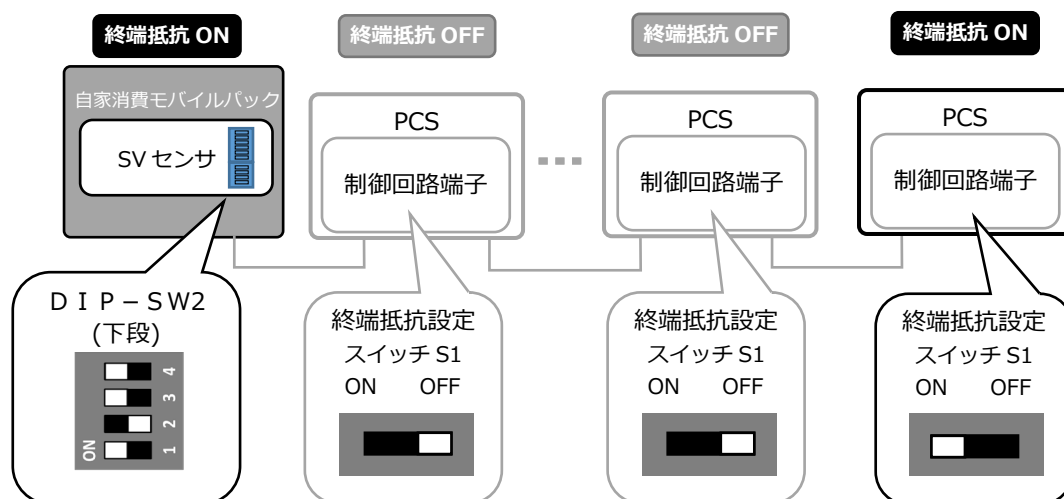
- ・ **自家消費モバイルパック：**

SVセンサの終端抵抗設定を有効（DIP-SW2 No.1 を ON）に設定してください。

- ・ **パワーコンディショナ：**

終端にあるパワーコンディショナの終端抵抗設定スイッチ S1 を「ON」にしてください。通信経路の間にある他のパワーコンディショナについては、終端抵抗設定スイッチ S1 を「OFF」にしてください。

- **終端抵抗の設定**



※スイッチの図は、スイッチの状態を白の四角で表しています。

5-2. 通信設定

パワーコンディショナの取扱説明書、施工・保守マニュアル等に従い、パワーコンディショナのRS-485スレーブアドレスを設定してください。初期設定にはキーパッドの接続が必要です。

※RS-485スレーブアドレスはCEPT-P3AA2025BまたはCEPT-P3AB2025Bの場合、1～9の範囲で設定してください。CEPT-P3AT2025BまたはCEPT-P3AU2025Bの場合、2～A（16進数）の範囲で設定してください。

販売元



NTT SMILE ENERGY

株式会社 NTT スマイルエナジー

〒541-0041 大阪府大阪市中央区北浜2丁目6番18号 淀屋橋スクエア 4F

06-6221-1234

お問い合わせ support@nttse.com

施工に関する
ご質問・ご相談は…

エコめがね
サービス
ヘルプデスク

050-3185-6842

受付時間

10:00 ~ 17:30

※年未年始・夏季休暇等の当社指定休日は除きます。